

令和4年度第5回山形市地域公共交通会議 会議録

日 時 令和5年3月3日(金) 14:00~14:40  
場 所 江南公民館 4階 講堂  
出席者 別紙名簿のとおり  
傍聴者 無し

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 事

●協議事項

新たな公共交通導入に係る滝山地区モデル事業における運行実験の実施について  
事務局より別紙資料に基づき説明。

⇒ 協議が調ったものとして合意した。

【主な意見等】

**委員** 運行ルートについては、東北芸術工科大学の学生を考慮していただいたものとなっている。車を持たない学生が増えている中、日常生活における買い物ニーズに対応できるものだと感じる。私自身も学生の利用促進を図っていきたい。イオンモール山形南店を経由した時の料金などがわかりやすくなるよう、バス停間の料金がバス停に掲示されているとわかりやすいのではないかと。

**事務局** 混雑がないよう周知広報を行う。

**委員** イオンモール山形南店は商業バスを運行しているのか。また、ルート内で路線バス事業者が運行する路線と競合している区間はないか。

**事務局** イオンモール山形南店ではバスの運行はしていない。なお、イオンモール山形南店とは運行内容検討にあたり協力をいただいているところである。路線バス事業者が運行する路線との競合については、一部ルートにおいて重複している区間はあるが事業者と調整し、ルートについて了承をいただいている。

**委員** 重複する区間で、滝山地区モデル事業と路線バスで運賃が異なる区間があるか。

**事務局** 路線バス事業者が運行する路線の初乗り運賃が190円、滝山地区モデル事業は200円となっており、滝山地区モデル事業の料金の方が高くなっている。

**委員** 路線バス事業者のほうが高くなる区間はないか。

**事務局** 重複している区間だけであれば、路線バス事業者の運賃が高くなることはない。

**座長** 事務局の認識で誤りないか。

**委員** 事務局の認識のとおりである。

**委員** 地区の中で今までバスが通ったことがない経路まで運行してくれることはありがたい。防犯上も効果があるのではないかと考えている。

**委員** 滝山地区だけでなく、全てのバス停について半径300メートルの円を描いていただくと多くのエリアをカバーしているということを示すのも周知等に有効でないか。

**事務局** チラシを作成するときに意見を踏まえて作成する。

委員 東北芸術工科大学ではスクールバスを運行しているが、途中下車は可能なのか。

委員 可能である。

委員 一日何便運行しているのか。

委員 便数は把握していないが、2台で運行している。

委員 運行実験以降のスケジュールは決まっているのか。

事務局 実証運行以降の時期についてはまだ定めていない。運行実験の結果によって、改善が必要となれば次のスキームに進むまで時間がかかると考えている。

#### 4. その他

無し

#### 5. 閉 会

令和4年度第5回山形市地域公共交通会議 出席者名簿

所属	職名	氏名	設置要綱上の構成員区分
山形市	企画調整部長	畑口 和久	山形市長
山交バス株式会社	営業部乗合課長	寒河江 晃一	一般乗合旅客自動車運送事業者
山形県バス協会	専務理事	小関 和夫	社団法人山形県バス協会
山形県ハイヤー協会	専務理事	山家 庸彰	山形県ハイヤー協会
山形県ハイヤー・タクシー協会		欠席	山形県ハイヤー・タクシー協会
山形地区ハイヤー協議会	会長	石川 康夫	山形地区ハイヤー協議会
滝山地区町内会連合会	副会長	柴田 輝男	住民又は利用者の代表
東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官	加藤 知美	東北運輸局山形運輸支局長
山形県交通運輸産業労働組合協議会	副議長	伊藤 圭一	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
山形県村山総合支庁総務企画部 総務課連携支援室	連携支援主査	梶原 仁也	山形県村山総合支庁長の 指名する者
国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所		欠席	道路管理者、山形警察署、学識 経験者その他の交通会議が必要 と認める者
山形県村山総合支庁道路課	道路管理専門員	井上 和俊	
山形市都市整備部道路維持課		欠席	
山形警察署交通第一課	交通規制係長	伊藤 浩	
東北芸術工科大学	教授	吉田 朗	
山形市企画調整部企画調整課 交通政策室	室長	大沼 功	事務局
	副室長（兼）交通企画係長	宮城 友嘉	
	主任	大場 千華	
	主任	白壁 武憲	